

毛里田の風

1月号



法人理念：多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

法人使命：「志と誇りを高く！自分も周りもしあわせに！そして、円満へ。」

*仏教の『自利利他円満』の教えより。

社会福祉法人毛里田睦会 理事長 長谷川俊道

ケア理念：自分で選択する人生を 自分らしく生きる

行動指針：1、人を幸せにする専門職として、すべての人に感謝を忘れず笑顔で「ありがとう」を伝えます。

：2、尊厳を尊重し、一人一人が大切にしてきた人生を大切にし、チームで支援します。

：3、プロフェッショナルとして知識を高め、地域に必要とされるサービスを提供します。

社会福祉法人毛里田睦会 特別養護老人ホーム毛里田

1月の行事予定

御祈祷
手作りおやつ
(すいとん)



1月のお誕生者

18日	岡田様		22日	河田様
23日	遠藤様		30日	若林様

「ご存じですか？」『コグニサイズ』とは??

国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みの総称を表した造語です。

コグニサイズは、「運動をしながら脳を刺激する」事により、認知症の予防、特に「軽度認知障害(MCI)」の方々の認知機能の維持、向上に役立つプログラムとしてテレビや雑誌において数多く取りあげられています。コグニサイズの目的は運動で体の健康を促すと同時に、脳の活動を活発にする機会を増やし、認知症の発症を遅延させることと言われています。コグニサイズの課題自体(ステップしながら拍手など)が上手くなることではありません。課題が上手くできるということは、脳への負担が少ないことを意味します。課題に慣れ始めたら、どんどんと創意工夫によって内容を変えていきましょう。「課題を考えること」も大事な課題です。さあ！楽しくコグニサイズしましょう！

注目の認知症薬「アデュカヌマブ」調べてみました ～R3.12.22朝日新聞DIGITALより抜粋～

アルツハイマー型認知症の新たな治療薬「アデュカヌマブ」の国内での製造販売について、結論を持ち越し、継続審議とした。これまで一時的に認知機能を改善させる薬はあったが、病気の原因に直接はたらきかけるとする薬は初めてで、注目を集めていた。厚労省によると、審議では「現時点のデータから有効性を明確に判断することは困難」とされた。追加の臨床試験(治験)の結果などの提出を待ち、改めて審議するが、年単位の時間がかかるという。

アデュカヌマブは、日本の製薬大手エーザイと米製薬大手バイオジェンが開発した点滴薬。アルツハイマー型認知症に対し、軽度認知障害や軽度認知症という早い段階で使うことで、進行を緩やかにできると期待されている。昨年12月に厚労省に承認申請していた。

*世界の認知症患者は約5千万人、日本国内の認知症患者は約600万人で、7割がアルツハイマー型認知症とされる。

ご家族様へ

《面会について》現在、ご家族様にご協力をいただき、対策を講じての直接面会が可能となっております。

- ・予約制・1家族様1週間に1度の面会を限度・1家族様3名迄・面会時間は15分～20分・マスク着用と手指消毒・飲食禁止
- ・体調の確認・接触の有無等の規制を設けております。今後の感染状況に応じて面会方法も変化いたします。お電話で面会予約を頂いた際に、状況に応じたご案内をさせて頂きたいと思っております。

介護でお困りのことがございましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

〈ご案内〉月曜日から金曜日の平日9時～17時の間に事務所窓口へお声掛けください。お待ちしております。

連絡先：0276-56-9357

介護支援専門員：石原ひろみ

